

第35回大阪市廃棄物減量等推進審議会議事要旨

1. 日 時 平成19年4月19日(木) 午後2時00分から午後4時00分

2. 場 所 大阪市環境局 あべのルシアス12階 局第1会議室

3. 出席者

(委員)

郡瀧会長、有年委員、今岡委員、小川委員、小畑委員、武智委員、中根委員、服部委員、
花嶋委員、東元専門委員、細見委員、宮川委員、村田委員、山田委員

(事務局)

辻企画担当課長、深津廃棄物処理計画担当課長、村山収集輸送効率化担当課長、谷一般廃棄物規制担当課長

4. 議 題

「大阪市における事業系ごみ減量施策のあり方」について

5. 議事要旨

(1) 事務局から資料に基づき、政令市のごみ量の推移、大規模建築物から発生するごみの現状と課題について説明を行った。

(2) 意見等の概要

・再生可能な資源物は具体的に何をターゲットにしてリサイクルすべきなのか。また、焼却工場でリサイクル可能なものを搬入禁止にすれば、産廃処理に流れる可能性や不法投棄とされてはならないので、コストバランスの観点からも整理が必要である。

・大規模建築物の資源化率など、廃棄物管理責任者の懸命な取組みがあるわけで、もっと周知すべきである。

・大規模建築物の報告で厨芥類がリサイクルできていない業種がある。減量のターゲットをしぼるべきである。

・厨芥類を全てリサイクルすべきとしてひとくくりにするのは難しい課題である。食品の加工前・加工後のどちらを対象とするのか。また、リサイクル技術・コストも異なる。

・ごみは量ではなく嵩も問題である。神戸市は450袋を9kgで換算している。実際に組成等を見て実態的な数値を使うべきである。

・他都市で事業系と家庭系を区分しているところもある。大阪市でも事業系・家庭系の住み分けを明確にすべきである。

(3) 今後の対応

・引き続き、大阪市における排出事業者の現状、リサイクルに関する大阪市の施策について審議を行う。

6. 会議資料

(1) 第35回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 資料1

(2) // 資料2

(3) 大阪市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について(報告)